

テレビ静岡では番組の適正化を諮るための審議機関「番組審議会」を設けています。

このページでは番組審議会の議事の概要をお知らせしています。現在、テレビ静岡では県内在住の8名の方に審議委員をお願いしており、毎月1回（2月、8月は休会）番組について、ご意見を伺い、今後の番組制作の参考にさせていただいています。

テレビ静岡 平成28年7月度 番組審議会概要

平成28年7月7日（木）
14時00分～15時00分
テレビ静岡本社 3階会議室

— 出席委員 —

高木 正和(委員長) 戸崎 文葉(副委員長) 石田 美枝子
木村 精治 上柳 正仁 齋藤 照安 花森 崇行 五十住和樹

— 議 題 —

番組名 「爆笑問題の深海WANTED」
テレビ静岡発 フジテレビ系全国28局ネット番組

放送日時 放送日時 平成28年5月22日（日）
16時00分～17時20分

制作著作 テレビ静岡

— 番組内容 —

番組は、去年5月に放送された駿河湾の深海生物を追った調査バラエティー第二弾で、今回はオーストラリアを訪れ、未開の深海に生息する珍しい生物「ゾウギンザメ」や、世界最重量のカニ「キングクラブ」などの捕獲に挑んだ。

司会は爆笑問題の田中裕二・太田光、出演は、ハリセンボンの近藤春菜・箕輪はるか、沼津港深海水族館の石垣幸二館長ら。石垣館長は、自らオーストラリアに赴き、実際の漁に参加している。

— 審議概要 —

- ◎深海の営みを楽しく気軽に見ることができた。
- ◎バラエティーと教養との両方の要素を楽しむことができる番組だった。
- ◎深海生物の不思議な生態に興味をそそられる番組だった。
- ◎生物の捕獲に挑戦して実現するまでのスタッフの苦労がわかった。
- ◎前回と比べて今回とてもよくなった。企画が面白く時間が短く感じられた。
- ◎できれば続編も作って欲しい。
- ◎司会の爆笑問題は、巧みな立ち位置で番組にマッチしていた。
- ◎沼津深海水族館の石垣館長のキャラクターがよい。会いたいと思う。
- ◎番組の最後に深海水族館で紹介した、目を輝かせた子供の「一日中見ていたい」というインタビューに感動した。
- ◎「深海の希少生物を捕獲し、スクープする」と冒頭から目的を明示するのが潔い。
- ◎深海水族館に運ばれた「ゾウギンザメ」の卵が9月に孵るのが待ち遠しい。
- ◎テレビ静岡が、「なぜオーストラリアを取材するのか」が分かりにくかった。
- ◎ロケがバタバタした印象で、もっと落ち着いてきちっとした取材をした方がよい。
- ◎船が故障した後、翌日すぐ別の船が手配できるとは信じがたい。
- ◎深海生物の生態については、容姿や由来などもっと詳しく説明して欲しかった。
- ◎スタジオの女性芸人はコメントなどが少なく、存在感が希薄だった。
- ◎アカデミックな要素が多くあるのに、なぜバラエティーにしたのか疑問を感じた。

以上、制作部門にフィードバックし、今後の番組作りで参考とさせていただきます。

8月は休会、次回の番組審議会は平成28年9月8日（木）の予定です。